

第351回 大阪大学臨床栄養研究会 (CNC)

日時：2014年10月20日 (月) 18:00

場所：大阪大学医学部講義棟 B講堂

「日本人の食事摂取基準 (2015年版) の考え方と活用-妊婦・授乳婦-」

講師：京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
木戸 康博 (きど やすひろ) 先生

日本人の食事摂取基準は、健康増進法に基づき、健康な個人並びに集団を対象として、国民の健康の保持・増進、生活習慣病の予防のために参照するエネルギー及び栄養素の摂取量の基準を厚生労働大臣が定め、5年毎に改定している。

日本人の食事摂取基準 (2015年版) 策定に当たっては、健康日本21 (第二次) の基本的方向を踏まえ、健康の保持・増進と共に、高齢化の進展や糖尿病等生活習慣病の発症予防と重症化予防も視野に入れて策定を行った。このため、関連する各種疾患ガイドラインとも調和を図っている。また、科学的根拠に基づく策定を基本とし、現時点で根拠は十分ではないが重要な研究課題の整理も行っている。

日本人の食事摂取基準は、総論 (策定方針、策定の基本的事項、策定の留意点、活用に関する基本的事項)、各論 (エネルギーと栄養素の食事摂取基準)、参考資料 (対象特性、生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連) で構成されている。本講演では、対象特性として妊婦・授乳婦をとりあげ、たんぱく質の食事摂取基準策定について解説し、研究課題を整理したい。また、たんぱく質代謝の新しい研究法についても触れたい。

世話人：産婦人科 金川武司

E-mail: kanagawa@gyne.med.osaka-u.ac.jp

次回、第352回は、伊藤壽記先生のお世話で平成26年11月17日 (月) に開催予定です。